

中国人民元の先行きを考える —しばらく元高基調が続くと予想—

- ・6月以降、中国人民元が対ドルで上昇を続けています。
- ・中国経済の相対的な優位性、次期米政権の対中政策が現政権より軟化する可能性があること、中国の対外収支の改善などを背景にしばらく元高基調が続くと予想しています。

対ドルで強含む中国人民元

6月以降、中国人民元が対ドルで強含んでいます（図表1）。中国で新型コロナ感染が早期に収束し、いち早く経済活動が回復に転じたこと（図表2）、FTSEラッセル国債指数に代表されるように金融市場で使われる世界的な指数に元建て資産が組み込まれる動きが広がっていること、米大統領選を控えて米中の通商摩擦が一旦落ち着きを見せていることが背景にあると考えています。

元高基調の継続を予想

今後も次のような理由からしばらく元高基調が続くと予想しています。

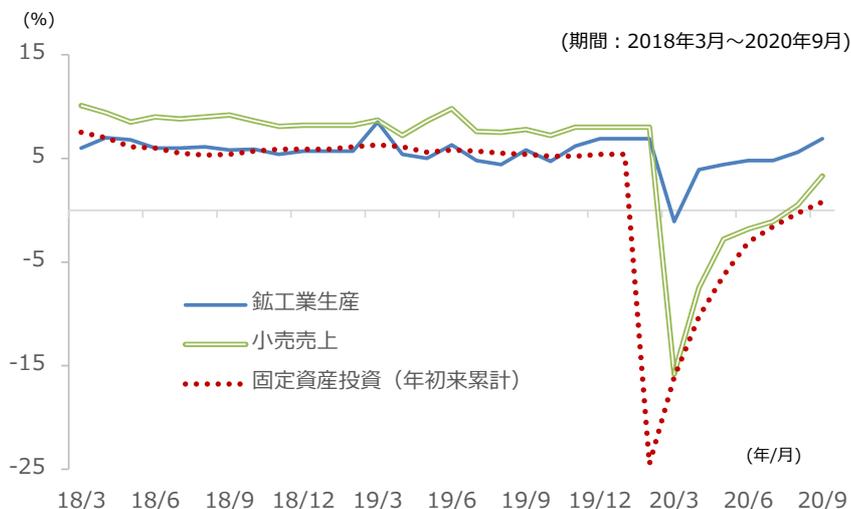
- ▶ 新型コロナの感染状況を考慮すれば中国経済の先進国に対する相対的な優位性はしばらく揺るがないと思われます。
- ▶ 大統領選後の米中関係は不透明ですが、仮にバイデン大統領が誕生した場合、対中スタンス（特に関税などの通商分野）は現政権より軟化する可能性があります。
- ▶ 上海市場等におけるIPO（新規株式上場）の拡大によって人民元の需要が増えそうです。
- ▶ 米国で大統領選の結果が判明せず政情不安が続けばドル売り材料になりそうです。
- ▶ 5中全会では5カ年計画とともに2035年まで長期計画が議論されますが、少なくとも元相場にマイナスになる政策の発表は想定していません。
- ▶ 足元で貿易収支、経常収支が改善し、外貨準備高も安定していることは中長期的に元相場を安定させると考えられます。

また、急激な元高を抑えるために直近元売りフォワード取引の準備金要件が撤廃さ

図表1 人民元レートの推移（対ドル）



図表2 中国の主要経済指標（前年比伸び率）



（図表1-2の出所）Bloombergのデータより岡三アセットマネジメント作成

れましたが、これは短期的に元の上値を抑えることはあっても中長期的には為替市場の開放に向けた動きの一環とみられ元へのプラス材料になると考えています、一方、リスク要因としては共産党政権が米国の政治空白について地政学的に敵対的な姿勢を打ち出せば、米中関係が急速に悪化し元安が進むことになると考えています。

以上（作成：投資情報部）

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、投資環境に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

皆様の投資判断に関する留意事項

【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

【留意事項】

- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 投資信託の収益分配は、各ファンドの配分方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

【お客様にご負担いただく費用】

- お客様が購入時に直接的に負担する費用
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.85%（税抜3.5%）

- お客様が換金時に直接的に負担する費用
信託財産留保額：換金時に適用される基準価額×0.3%以内

- お客様が信託財産で間接的に負担する費用
運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
 ：純資産総額×実質上限年率2.09%（税抜1.90%）

※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

その他費用・手数料

監査費用：純資産総額×上限年率0.0132%（税抜0.012%）

※上記監査費用の他に、有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

【岡三アセットマネジメント】

商 号：岡三アセットマネジメント株式会社
 事業内容：投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業
 登 録：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第370号
 加入協会：一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、委託会社である岡三アセットマネジメント株式会社が運用する公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）